

フリップ・ディスカッション

■特性

- ◇視覚的に思いが表現できる。
- ◇自分の考えや思いが整理できる。
- ◇ひざをつき合わせて、気軽に話し合える。
- ◇グループの全員が発言できる。
- ◇発言することが苦手でも、フリップを使うことで比較的容易に話ができる。
- ◇参加者の価値観や考え方の多様性が理解できる。

■準備するもの

バインダー（人数分） + A4用紙（質問数×人数分） ※A4用紙をバインダーにセットしておく。
色マーカー（人数分）

■進め方

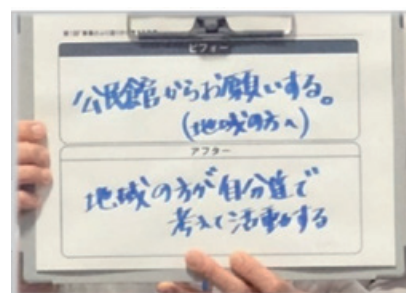
- 1 4～5人のグループをつかって、車座になる。
- 2 テーマについて、思いや考えたことを短い言葉や絵で大きく用紙に書く。
（メンバーに見えないようにする）
- 3 フリップを見せ合い、書いた思いを紹介し合う。
- 4 時間いっぱいテーマについて話し合う。
- 5 3～5を繰り返す。
※1問目は、自己紹介としてもよい。
※質問は、気軽に考えるものから徐々にねらいに迫るものにする。
- 6 グループの話し合いの後、代表が全体に発表したり、ファシリテーターが紹介したりする。

■留意点

- ◇書くことが思いつかない場合は、無理強いをしない。思いを発言するように伝える。
- ◇会の終末には、グループでの話し合いの様子を、全体に広げる工夫をする。



【車座でのふり返し】



【フリップ例】

フリップ・ディスカッション 進行例

40分程度の設定の場合

① ワークの説明を聞く（1分）



これから、いくつか質問をします。
その質問について、思いや考えを短い言葉や絵で大きくフリップに書いてください。
グループのメンバーに見えないように書いてください。
皆さんが書かれたら、私が「せーの・どん!!」と声をかけるので、一斉にフリップを見せ合い、なぜそう書いたか、思いを出し合ってください。

② 質問を聞いて、思いや考えをフリップに書く（1つの質問につき2分）

それでは、最初の質問です。
(以下、【質問例】を参考に進める。)



【質問例】

- 半分より上に「私は一見、○○ですが」の○○部分を、半分より下に「実は□□です」の□□部分を書いてください。
- 事例発表を聞いて心に残ったことは何ですか。
- あなたの地域の公民館はどんなことをしていますか。
- 公民館でやってみたいことは何ですか。
- そのために、あなたができることは何ですか。

③ フリップを見せ合い、話し合う（1つの質問につき1人1分程度）



(傾合いをみて)
それでは、見せ合いましょう。「せーの・どん!!」
グループで思いを紹介し合ってください。
時間をとりますので、時間いっぱい話し合ってください。

④ ②～③を繰り返す（30分）

⑤ 他のグループの発表を聞く（9分）

- 「ファシリテーターが指名した人が発表する」「全員が発表する」
- 「ファシリテーターが紹介する」など、臨機応変に対応する。

※ふり返りと分かち合いの活動につなげる。